申し入れ書

内閣総理大臣 安倍晋三殿

1. 戦争法案を撤回し、即時廃案を求めます

安倍内閣が、国会に提出している「安保法制(戦争法案)」は、 まさに憲法を根底から破壊する「憲法違反」の法律です。

私たち八王子市民は、6・14《第3回「ストップ!戦争する国」 市民パレード in 八王子》集会の名において、安倍内閣が、この 憲法違反の「安保法制(戦争法案)」をただちに撤回し、即時廃 案にすることを強く求め、ここに決議し、申し入れるものです。

2. 申し入れの理由

安倍内閣が提出した「安保法制関連法案」は、国会審議を通じて、日本を戦争に巻き込む「憲法違反の戦争法案」であることが、ますます明らかになっています。

この安保法制(戦争法案)は、日本が攻撃されていなくても、 アメリカが行う戦争に「いつでも」、そして世界中の「どこへで も」、またアメリカが行う先制攻撃を含む「どんな戦争にも」、 自衛隊を「切れ目なく」派兵して支援・協力するものです。

まさにアーミテージ元国務副長官が「アメリカ人を守るため、

自衛隊員も命をかけるという宣誓なのだ」とNHKインタビューで答えたように、この戦争立法の本質は、日本の若者の命を品物のようにアメリカに差し出す事です。

日本の憲法学者 99%が「違憲」と判断し、さらに国会の「憲 法審査会」でも、自民党・公明党・次世代の党が推薦した憲法 学者までもが「憲法違反だ」と断言したのです。

「憲法違反」をしている当の本人(=安倍内閣)が、悪あがきを続け「憲法に違反しない」と百万弁繰り返しても、安保法制が「憲法違反の戦争法案」であるという真実を 覆 すことは出来ません。

そもそも、政府が「憲法違反の法律」を提案すること自体、 絶対に許されません。なぜなら憲法は、国の最高法規なのです。

私たち八王子市民は、国の主権者として、安倍内閣が、安保 法制関連法案をただちに撤回し、 潔 く即時廃案にすることを 強く求め、市民集会の名において決議し、申し入れるものです。

<第3回「ストップ!戦争する国」市民パレード in 八王子>集会 2015 年 6 月 14 日